

## 後期企画展記念講演会(2月25日) ご感想・ご意見 No.1

◆貴館に興味がありながら機会が無かった。この度の講演会に参加できて満足です。この施設をもっとPRすべきであると思う次第です。(70代)

◆いつもありがとうございます。とてもわかりやすくおもしろみのある講演で、これからの課題も知ることができました。鹿島台にある陪審百名簿は貴重だと思いました。学校日誌を永年保存としている学校も少ないかと思えます。とくに地方は資料の読みとり保存の担い手をどう確保するか課題と考えています。(40代)

◆文化が乏しい古川でこのような文化的な集いが行われることをありがたく感じております。吉野作造記念館が古川での文化活動の中心として益々のご発展を祈願しております。

吉野作造記念館で学校資料保存の活動をして欲しいと感じました。

(60代)

◆出来るだけ参加したいですね。(70代)

吉野作造記念館 2022年度後期企画展

### 我が町おおさきの歴史・文化 (第1回—戦争篇—)

2023年1月29日⑨～3月26日⑨  
会場：吉野作造記念館 企画展示室



大正デモクラシー運動の旗手・吉野作造は、日本の民主主義の歴史を明らかにする  
ための著書・政治時代の歴史資料に取り組み、またそのための歴史資料の収集を行  
いました。自分たちの歴史を自分たちで記録することは、いつの時代もデモクラシー  
(民主主義)の基本です。では、ここ大崎市ではどうでしょうか？ 吉野作造の著書・政治時代の歴史資料の収集・保存の取組をめぐって、  
この企画展では、大崎市の歴史・文化を実際の資料を通じてたど  
ります。

もちろん取りたい人は…

2月25日⑨ 13:00～  
【大崎市内小学校の資料調査から—中継報告—】  
講師：大平 聡氏 (吉野作造記念館)  
吉野作造記念館の歴史資料の調査・収集について、大崎市内小学校の資料調査から中継報告を行います。

◆企画展の観覧料をご参加いただけます。  
◆見学料です。お電話、または申請フォーム(下記URLもしくは二次窓口)から  
ご予約下さい。  
<https://www.yoshinozakuzo.info/blank-56>  
◆「吉野作造記念館」(2020年)出版の資料をご参加いただけます。  
(2022年度吉野作造記念館大学版)  
◆観覧料をクレジットカードで支払うことも出来ます。  
◆お電話予約ととも、内容を徹底説明する場がございません。  
あらかじめご了承ください。

大 吉野作造記念館  
〒989-6105 宮城県大崎市大崎一丁目2番20号  
TEL:022(25)21-1100 FAX:022(25)21-4978  
URL:www.yoshinozakuzo.info



ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。

## 後期企画展記念講演会(2月25日) ご感想・ご意見 No.2

◆資料発見のバックストーリーが特に興味をそそられました。先生の報告もデジタル化されており時代の流れを感じました。これからも「宝の山」の発掘活動が実りあるものになりますよう祈っております。(30代)

◆小学校の日誌で歴史を深掘できるのは面白いと思った。何でも整理して捨ててしまいがちだが、昔の手書きの日記は味わいがあって、色々考察が出来るので、残っていた事で後世に、とても良い資料となっていると思う。大正・昭和の面白さが知れた。研究員と行政の考え方に乖離があるのが不安ですね。

(40代)

◆メモリーが発達しているので記録しておければ解析は後からまた、経験のある高齢者を活用するなどの手があるのではないか?(70代)

◆日頃より大変お世話になっております。今回の講演会も大変勉強になりました。ありがとうございました。(40代)

◆資料保存の大切さ、大変勉強になりました。ありがとうございました。(40代)

◆非常に興味深い内容でした。昔は学校と地域が密接な関係にあった事がわかり当時の生活などの情報が多く含まれていたことが面白かった。(30代)

◆地域の資料としての学校日誌の役割、今まであまり考えていませんでした。ありがとうございました。小中学校統廃合が続いています。地域の宝として是非残して欲しく教育委員会で力を発揮してほしい。(70代)

◆貴重な資料ありがとうございました。(70代)

◆大変面白く興味深い御講演でした。時間がもっと欲しかったですね。(60代)

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。

## 後期企画展記念講演会(2月25日) ご感想・ご意見 No.3

◆大平教授が行く予定の第一小学校は、私が卒業した学校で東日本大震災の時に家族で避難した場所でもあります。(資料が沢山残っていることを願います。)関東大震災を境に日本の心から武士道精神が失われて行ったという人がいました。

では、東日本大震災を境に大地だけではなく、我々の心にも何らかの価値観の変化のようなものがあるのでは?と思い、それが、何であるか考えている所です。(50代)

◆各博物館や行政だけではなく、地域や個人が集めた資料をこれからどうしようかと悩んでいる所はたくさんあると改めて思った。記録を読み思いをさせて想像する。その時代に触れることの基本的な姿勢であることを実感しました。(40代)

◆講師の熱意を感じると共に資料に年号(昭和〇〇年・大正〇〇年)の記載があると助かります。(70代)

◆地元の神社について調べている所です。小学校の設立誌も参考にちょうど見ていたので非常に興味深かった。地元の小学校も4年後閉校となる予定です。機会があれば日誌を見たい。そうした思いを強くした講演でした。ありがとうございました。(60代)

◆ありがとうございました。興味深い話でした。記録を残すことの大切さ、記録から学ぶ後の世への生かし方(どういう世界にするか、何を大切に生きるかなど)を学ぶことができました。(70代)

◆当時の古川小学校を見たかったことや生徒数の変化も知りたかった。(60代)

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。